

様々な分野をつなぐ体験活動

小中学校、特別支援学校等との連携

体験活動を実施する中で、小学生からあいさつされることが増えた、勉強を教えることが楽しいなど、年間を通した活動が行われています。

- 小学校下校時の通学路の安全見守り、道路横断時の安全確保
- 学校行事(運動会、展覧会、音楽会等)の進行補助、会場整備
- 放課後や夏休み等の学習指導補助、プール指導補助、本の読み聞かせ活動
- 特別支援学校の避難訓練に参加、生徒たちとの交流活動
- 特別支援学校のお祭りの進行補助、会場整備
- 小中学生対象の体験教室、工作教室等の指導



部活動での実施

教科「奉仕」の体験活動を、部活動ごとに実施している学校もあります。部活動に入っていない生徒は地域の公園での清掃活動を行い、事前・事後学習で介護福祉士や国際貢献についてのお話を聞くなど、年間計画の中で視野が広がる授業となるように工夫しています。

- サッカー部 サッカーフェスティバルの補助
- バスケットボール部、ラグビー部、テニス部等 中学校の指導補助
- バレーボール部、剣道部等 障害者福祉施設の運動会補助
- ダンス部 地域公民館のお祭り参加
- 吹奏楽部 障害者福祉施設の文化祭参加
- 美術部・漫画研究会 美術館の業務補助



校内での体験活動

天候によって校外での活動ができなかったり、定時制高校では授業時間が夜にかかるため、学校外での体験活動だけでは難しいことがあります。ボランティアセンターや、地域の活動団体等と連携し、次のような工夫した体験活動が実施されています。

- 古切手の整理
- 視覚障害者のための朗読ボランティア
- 近隣施設に寄贈する雑巾の作成
- 海外に送る絵本に訳文をつける作業
- 点字絵本の作成、点字による表示シールの作成
- 高齢者への年賀状、暑中見舞い等の作成



✕ 都立砂川高校定時制の取組

都立砂川高校定時制では、地域の活動団体とのネットワークがあるボランティアセンターがコーディネートすることで、車椅子利用者や視覚障害者との交流、子育てママとの交流、障害当事者の災害時対応を考える、エコキャップ活動を進める団体による体験活動など、幅広い活動を実施しています。

コーディネートしていただいた市民活動センターたちかわのスタッフの方にお伺いしました。

体験活動＝学校外での活動と思われがちですが、校内でも生徒が積極的に取り組める活動をつくることはできます。奉仕の授業は社会体験活動ですので、地域の活動団体や地域で暮らす多様な人を“知る”“つながる”ことも大切なことです。

例えば、上記に挙げている活動などは校内でも取り組みますし、他校では夜間の防災訓練を地域の防災ボランティアと一緒に実施したこともあります。また、夜間であれば、逆に日中は仕事をしている世代の人にも協力をしてもらいやすくなるなど、工夫次第で、校内や夜間のプログラム作成も十分に可能です。

いずれにせよ、単なる活動だけで終わらせず、そこに人が関わることが重要です。困った時は、地域のボランティアセンターなどにお声かけいただければと思います。